

東淀川区地域保健福祉計画【概要版】



東淀川区キャラクター
「こぶしのみりちゃん」

～「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」のまちづくりをめざして～

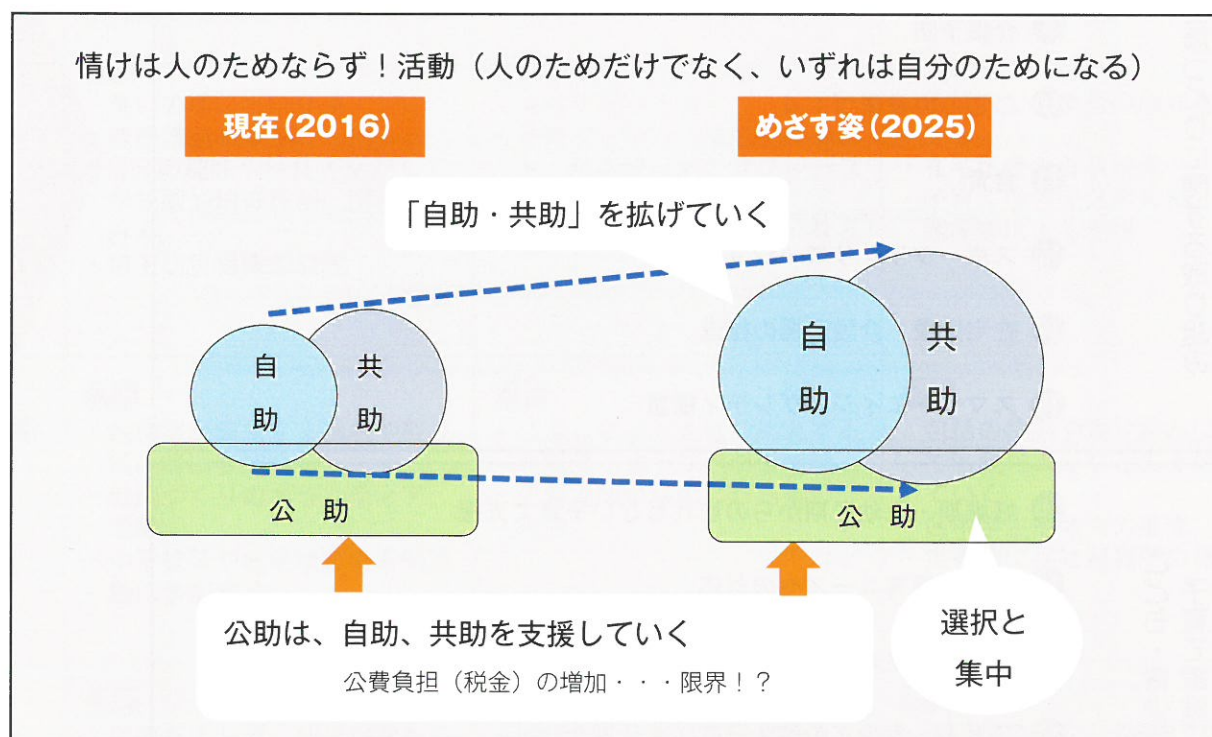
東淀川区地域保健福祉計画とは

地域コミュニティの中で人と人とのつながりを深め、ソーシャルキャピタルの向上で地域力や健康度を上げ、こどもから高齢者まで誰もの人権が尊重され、災害に強く安全かつ安心して、健康で心豊かに生き生きと暮らし、子育てしやすくずっと住み続けられる快適で活力とにぎわいのある「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」のまちづくりをめざし、地域福祉だけでなく、地域保健も取り入れた「東淀川区地域保健福祉計画」を策定します。

自助・共助・公助とは

住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らし続けることは誰もの願いです。そのために、私たち自身ができることとは何でしょうか。

また、地域の方々が共に支え合い助け合いながら行えることとは何でしょうか。私たちは、まず「自助」「共助」「公助」の考え方を理解して実践していくことが大切です。



自助・・・助けられ上手になる。自分で何かをすること。自らの身を自分で守ること。

例：健康づくりのために運動する、行動するために必要な情報を得る、地域行事に参加するなど

共助・・・みんなで助け合う・支え合うこと。隣近所が助け合って地域を守ること。

例：日頃からの声かけ、顔の見える関係作り、こども・高齢者の見守り、交流の場づくりなど

公助・・・行政の責任で実施すること。

例：各種子育て支援サービス、健康診断、障がい福祉サービス、地域担当職員体制など